

「巡回アカデミー」(長崎県研修) の実施について

市町村アカデミーでは、様々な事情によって千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域に赴き、高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年度内に2回実施しています。



長崎県市町村会館

令和7年度は、第1回目を10月15日(水)と16日(木)の2日間の日程で、長崎県長崎市にある長崎県市町村会館において、長崎県市町村職員研修センターとの共催で、「災害対応研修(基礎編)～危機に直面したときの適切な行動を考える～」の研修を行いました。

15日(水)は開講式の後、熊本県初代危機管理防災企画監・防災軍師の有浦隆氏から「過去に学ぶ災害対応と自治体防災」と題して、実際に熊本地震の陣頭指揮を執った経験談をもとに、災害対応と自治体防災についてご講義をいただきました。研修生からは、「自分が今まで触れてなかった知見を教えてくださいいただき非常に勉強になった」などの感想が寄せられました。



講義の様子

次に、事例紹介として、岡山県倉敷市防災危機管理室地域防災推進課主幹の高槻直樹氏から、倉敷市で発生した豪雨災害における災害対応のフェーズごとの想定と現実とのギャップなどについてご講義をいただきました。研修生からは、「同じ自治体職員の講師より具体的事例を交えて講義いただき大変共感を覚え勉強になった」などの感想が寄せられました。

1日目の最後には、「防災教育のための手法～災害図上訓練(DIG)のノウハウと実践～」と題して、一般財団法人消防防災科学センター研究開発部上席主任研究員の小松幸夫氏から、災害図上訓練(DIG)の実習を通じて地域の災害危険性や警戒・初動時の対応などを体験しながら、災害に強いコミュニティづくりなどについてご講義をいただきました。研修生からは、「自主防災組織などで実施しながら地域防災の向上に役立てていきたい」などの感想が寄せられました。

16日(木)は、事例紹介として、三重県いなべ市総務部防災課課長補佐の月大浩靖氏から、能登半島地震や熊本地震の被災地事例、円滑な受援方法などについてご講義をいただきました。研修生からは、「実際に各地で実践経験がある方の話を聞くことができよかった」などの感想が寄せられました。

次に、「防災力の向上と自治体の危機管理」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授の鍵屋一氏から、高齢化・コミュニティの衰退等を踏まえた個別避難計画や地区防災計画等の新たな地域防災力向上対策についてご講義をいただきました。研修生からは、「要支援者への対応やコミュニティの在り方が全体的にわかった」などの感想が寄せられました。

引き続き、「課題演習(討議・発表・講評)」と題して、班ごとに、研修生が準備した災害対応のテーマに沿った有事対応を検討のうえ、討議・発表し、小松幸夫氏からご講評をいただきました。研修生からは、「有事の際に行政機関との連絡調整をどのように行えば良いかヒントを得ることができた」などの感想が寄せられました。

令和7年度は、残すところ令和7年12月に、第2回目を愛知県名古屋市にて開催する予定となっております。



研修受付



実習の様子



修了証書授与